

2013年10月9日

昭和シェル石油株式会社
東北支店長 渡邊 信彦 様

青森県生活協同組合連合会 会 長 内田 弘志
秋田県生活協同組合連合会 会長理事 大川 功
岩手県生活協同組合連合会 会長理事 加藤 善正
山形県生活協同組合連合会 会長理事 松本 政裕
宮城県生活協同組合連合会 会長理事 齋藤 昭子
福島県生活協同組合連合会 会 長 吉川 毅一
(公 印 略)

家庭用灯油に関する要請書

御社におかれましては益々ご隆昌のこととお慶びを申し上げます。

また、日頃より生活協同組合の諸活動にご高配賜り、心より御礼申し上げます。

原油高や経済政策による円安の影響で、原油価格が高騰し食料品や水光熱費などの諸物価の値上がりが消費者の生活を圧迫し始めています。

北国に住む私たちにとって「灯油」は欠くことができない生活必需品です。しかし灯油は現在 1 缶 1,800 円、ガソリンは 1 ㍒ 160 円となり、原油が異常に高騰した 2008 年以來の高い価格水準になっています。特に灯油の高騰は、これから冬の需要期に向かい家計を圧迫するのは必至であり、中小の事業者や農林漁業にも大きな影響を与えます。

灯油高騰の要因の一つは、「投機マネー」の動きです。2008 年の暴騰も投機マネーによるものでしたが、その後も国際的な金融緩和でだぶついたお金が食料や原油に流れこみ、価格を押し上げ続けています。投機を抑えるための取引の透明化や取引高制限などの規制に日本政府も率先して努力するべきと考えます。要因の 2 つ目は経済政策による円安の影響です。円は前年に比較して 1 ドル当たり約 20 円安くなっており価格上昇の要因となっています。さらに、石油元売会社による価格の決め方にも要因があると思われます。最需要期になると灯油だけが他の石油製品より高くなったり、原油価格相場以上に仕切り価格が上がるということのないようにお願いします。

在庫量に関しては、現在十分な量を積み上げていますが、これから寒くなる需要期に入ると一気に在庫量が減ります。そこへ、合理化を理由に製油所の閉鎖や灯油在庫の削減がすすめられると、東日本大震災の経験上、燃料不足で 1 ヶ月も消費生活がマヒしてしまうことにも繋がりがかねません。全国では毎年 1 千箇所ペースで給油所が減り、今後過疎地や被災地での給油所不足は問題になります。燃料は、食料に次ぐ生命線です。東日本大震災のときのような状況を二度と起こさず、地方や被災地が取り残されることがないようにお願いします。

生活必需品であるにも関わらず、私たち東北の住民が毎年のように量と価格に悩まされるのは、現在の石油精製・流通に問題があると考えます。

消費者の立場から、適正価格と安定供給に貴社が社会的責任を果たされるよう、以下のことを要望いたします。

記

[要請項目]

- 1、北国の『必需品』である灯油が、他油種より高い状況や原油相場以上に価格が上がることをのな
いよう適正な価格にしてください。
- 2、私たちが安心して生活するために、冬季間の灯油は適正な価格と安心できる在庫水準が必要で
す。灯油が生活者の必需品であることを踏まえ、需給をタイトに維持する計画を絶対にとらず、
安定した供給となるよう強く要望します。特に、寒波や不測の事態が起きても生協に必要量が速
やかに入るようお願いします。

以上